

報 告

2014 年度 翔友会 総会

2015 年 2 月 22 日

次 第

司会 瀬川 貴之

一 黙祷

二 会長挨拶

会長 大久保 雅史

三 航空部部長挨拶

部長 山口 博司

四 議事

議事進行 事務局長 西山 靖郎

1. 本年度新入会員紹介

監督 森川 泰

2. 航空部現況報告

〃 〃

3. 2014 年度活動報告

主将 嵯峨根 育斗

会計報告

会計 藤井 瞳

4. 翔友会

2014 年度活動報告

会長 大久保 雅史

会計報告

会計 瀬川 貴之

2015 年度活動方針(案)

会長 大久保 雅史

予算(案)

〃 〃

5. 各支部活動報告

各支部長

6. 新学連(社)東海・関西学生航空連盟

代表理事 太田 泰史

7. OB体験搭乗会の件

東海副支部長 水谷 修平

8. その他(80周年事業、DCカード)

五 全国大会壮行会・懇親会

司会 前田 賢一

☆乾 杯

☆会 食 選手スピーチ

OBOGスピーチ

☆閉会の辞

☆カレッジソング斉唱

以上

2014 年度翔友会会計報告

2014.1.1～2014.12.31

(単位:円)

収入の部		支出の部	
前期繰越	55,233	翔友発行費・発送費	119,493
会費・賛助金（のべ78名分）	780,000	総会費	220,611
総会会費（18名）	180,000	学連カレンダー購入費（2014年版）	75,000
寄付	15,000	全国大会援助金	0
翔友会カードインセンティブ	19,020	搭乗奨励金	90,000
校友会大懇親会チケット代	25,000	スポーツユニオン分担金	30,000
利息	8	スポーツユニオン震災義援寄付	20,000
		校友会大懇親会チケット代	50,000
		OBOG懇親会若手OB会費援助	10,000
		AION（JA2096）整備費援助	0
		通信費	34,444
		文具雑品印刷費	1,605
		慶弔費	2,268
		各種手数料	6,318
		60周年余剰金へ返済	100,000
計	1,074,261	計	759,739
次期繰越金内訳		次期繰越金	314,522
現金	65,793		
普通預金	12,897		
郵便振替	235,832		

翔友会財産目録

現金	65,793 円 翔友会会計次期繰越金
普通預金(みずほ銀行出町支店)	12,897 円 ”
ゆうちょ銀行振替口座	235,832 円 ”
通常貯金(ゆうちょ銀行)	1,000,000 円 小野基金
	52,401 円 果実
普通預金(みずほ銀行出町支店)	1,374,983 円 60周年余剰金
合 計	2,741,906 円

(単位:円)

2015 年度翔友会予算(案)

(単位:円)

収入の部		支出の部	
前期繰越	314,522	翔友発行費・発送費	130,000
会費・賛助金(のべ80名分)	800,000	総会費	250,000
総会会費(20名)	200,000	学連カレンダー購入費(2015年版)	75,000
翔友会カードインセンティブ	30,000	全国大会援助金	100,000
利息	8	搭乗奨励金	150,000
		AION(JA2096)整備費援助	150,000
		スポーツユニオン分担金	30,000
		通信費	40,000
		文具雑品印刷費	5,000
		慶弔費	20,000
		各種手数料	5,000
計	1,344,530	計	955,000
		次期繰越金	389,530

2014 年度 翔友会活動報告

2014 年度の翔友会は、OBOG の親睦を深め、現役と一体となって航空部の発展に寄与する事を目的に活動を行いました。

1. 翔友会と航空部の発展のため、若い OBOG の方が賛同し協力を頂けるように働きかけた結果、新しく若手の OBOG が参加してくれました。
2. 皆様のご協力により、OBOG 体験搭乗会の継続実施をはじめ親睦行事を新たに企画実行することが出来ました。*琵琶湖周遊・大津まつり前夜祭・懇親会を実施。
3. 2012 年度からのプロジェクト実現のために活動を行いましたが、プロジェクト全体では 大きく進捗したとは言えない結果であったと反省しております。
4. 創部 80 周年を 3 年後にひかえ、翔友会の原点である親睦行事のあり方を検討実施するために委員会を設置したいと考えていましたが、人選が未定です。
5. 全国制覇達成を目指すための基本であるライセンスの早期取得、単座機での錬度向上を目的に、競技会に勝てる航空部とするために、搭乗回数を増やす支援として”搭乗奨励金”を実施いたしました。
6. 今後の資金力強化を実現するために、翔友会費とは別に現役サポーターズクラブ(仮称)を新設し、現役に対する資金集め専用の会を創りたいと考えていましたが、従来の翔友会のみとし、OBOG の方で現役を支援いただける方の寄付(大学宛→航空部)拡大を推進して参りましたが、大きな成果には結びつきませんでした。
7. 現役部員の搭乗不足を補うために、OBOG が社会人クラブに入会し、OBOG の搭乗機会を増やし且つ現役の支援を行なうため福井グライダークラブに入会しました。大野グライダークラブにも同時入会となり、訓練に有効活用を図り、結果大野グライダークラブでの合宿と結びつきは以前より強くなりました。
8. 東海・関西学連の自立化を安定的に継続するための協力を行っていく、学生の負担減のため、コストダウンに OBOG がボランティアで協力して行く事にも今後協力する予定でしたが、相互の協力関係が出来たとは言い難い結果

だと考えます。

9. 現役指導育成の支援として、現役の幹部の業務内容の確認、明確化(文書化)及び進捗管理と引継ぎの実行を補佐する事を継続していく予定でしたが、不十分な状態で終わっています。
10. ”翔友”継続発行と電子化、ローコスト化を実行するために、学生の請負を含め進めて参りました。結果的に製本の形態として若干課題はありますが、全OBOGの方に送付が出来ました。費用の方も大きく低減が出来ました。窪田編集長はじめ現役部員担当者の努力に感謝いたします。
11. OBOGボックスにつきましては、京田辺が最良か再検討の結果、OBOGの方には不便で利用に大きな期待が出来ないとの判断で中止いたしました。格納庫整理等は順次実行され、かなりの改善が出来ました。ご協力頂いた方に感謝いたします。
12. 同志社専用滑空場構想は、玉水橋上流の河川敷の代替地調査を継続して行う事で検討いたしましたが、(社)東海関西学生航空連盟の田口教官に相談した結果、今以上に滑空場を増やしても管理・運営等で費用対効果が期待できないので中止をいたしました。
13. 新入生の増員策として、学内高校生の早期訓練、勧誘の実現を2014年度に行う予定でしたが、これにつきましては学内高校長、父兄の承諾が必要であり、今後の進め方を見直す事にします。

14. 年間行事

*翔友会行事

2/9 幹事会・PJ会、2/23 幹部交代・追出しコンパ、3/9 翔友会総会、5/11 幹事会・PJ会、5/31 新勧コンパ、8/31 幹事会・PJ会、9/6 OBOG 体験搭乗会、10/11 OBOG 親睦会、12/5 幹事会・PJ会

*ユニオン行事

1/12 スポーツユニオン総会・祝勝会、2/15 同志社大懇親会、5/17 スポーツユニオンゴルフ大会、6/7 スポーツユニオン総会、7/17 OBOG 会長会議、10/18 水泳部 90 周年記念、12/5 OBOG 会長会議。

*ユニオン支部:東海支部会議、坂田代表、水谷副代表出席

以上

2015 年度 翔友会活動方針(案)

翔友会の 2015 年度活動方針は、従来通り各年代の OBOG 方の親睦を深め航空部の発展に寄与できる活動を行ってまいりたいと考えます。

1. 若い OBOG 方の協力が不可欠です。各幹事方の働きかけで平成卒業以降の OBOG 方の参加で同志社大学体育会航空部が発展できる様に世代交代を行いたい。
2. 2年後の創部 80 周年の行事を実施するために親睦行事を企画実行する委員会を設置します。皆様のご協力・ご提案をよろしく願いいたします。
3. 全国制覇達成を目指すために”搭乗奨励金”を実施し、ライセンスの早期取得、単座機での練度向上を支援します。支援の形態は部に対して行う事に変更します。
4. 今後の資金力強化を実現するために、翔友会費とは別に現役から直接 OBOG 方へ直接寄付の要望をし、現役を支援いただけるように個人、企業の寄付拡大を推進します。
5. 大学スポーツ支援課(決算、活動、戦績報告)、スポーツユニオン、アトム(発信力強化)と関係強化も継続して行います。
6. 現役部員の搭乗不足を補うために、OBOG が社会人クラブに入会し、OBOG の搭乗機会を増やし、且つ現役の支援を行なうために OBOG 体験搭乗会を実施する方向で検討を行い訓練に有効活用を図ります。
7. 東海・関西学連の自立化を安定的に継続するための協力を行っていきます。学生の負担減のため、コストダウンに OBOG がボランティア協力していく事にも今後協力します。
8. 現役指導育成の支援として、現役の幹部の業務内容の確認、明確化(文書化)及び進捗管理と引継ぎの実行を補佐する事を継続していきます。
9. 年間行事予定
 - ①翔友会総会、幹事会・PJ 会、合宿・競技会応援、オリエンテーション支援、体験搭乗会支援、新勧コンパ、OBOG 体験搭乗会、OBOG 親睦会等、慶弔、その他行事会合。
 - ②ユニオン総会年二回、各幹事会、記念事業、ユニオン・校友会ゴルフ、ユニオン支部会議、慶弔、その他行事会合。

以上

2014 年度現役活動報告

実施合宿

日程	大学	場所	発数
05/24(土)～05/26(月)	同志社, 大阪府立	木曽川滑空場	総発数 148 発
06/06(土)～06/07(日)	同志社単独	大野滑空場	総発数 84 発
06/21(土)～06/22(日)	同志社, 福井大学	木曽川滑空場	総発数 53 発
07/05(土)～07/06(日)	同志社単独	大野滑空場	
08/09(土)～08/12(火)	同志社単独	福井空港	台風により中止
08/27(水)～08/31(日)	同志社, 立命館, 神戸	福井空港	総発数 81 発
09/05(金)～09/08(月)	同志社, 神戸	大野滑空場	
09/06(土)～09/13(土)	同志社, 神戸, 名城、愛学	木曽川滑空場	総発数 316 発
09/20(土)～09/23(火)	同志社, 京都	大野滑空場	総発数 150 発
10/28(土)～10/31(金)	関関同立戦	木曽川滑空場	総発数 273 発
11/25(火)～12/01(月)	トレセン	妻沼滑空場	
12/13(土)～12/15(月)	同志社, 名古屋工業	木曽川滑空場	総発数 21 発
01/17(土)～01/18(日)	同志社, 福井	木曽川滑空場	総発数 37 発
02/14(土)～02/20(金)	同志社, 大阪府立, 龍谷	木曽川滑空場	総発数 143 発

総発数

木曽川滑空場:932 発 大野滑空場:234 発 福井空港:81 発
合計:1247 発

現状報告(2015/02/22 時点) (括弧内は前年度比)

【部員数】 4 回生:4 名 3 回生:7 名 2 回生:6 名 1 回生:11 計 28(+8)

【技能証明取得者】 2(+1) 井上翔太(3 回生), 松本眞奈美(3 回生)

【教育証明コース】 1(+1) 井上翔太(3 回生)

【ウインチオペレーター】 0(-1)

【ハウトレ牽引認定者】 3(+2) 桑鶴智大(4 回生), 川上樹(3 回生), 嗟峨根育斗(3 回生)

2014 年度競技会成績

第 17 回全日本学生グライダー新人競技大会(10/09～10/15) 木曾川滑空場

【個人】

優勝:山崎選手(京都) 準優勝:田中選手(法政)
3位:清水選手(法政)
13位:徳光賢大(同志社) 24位:西原優作(同志社)

【団体】

優勝:法政大学 準優勝:名古屋大学
3位:慶應義塾大学 9位:同志社大学

第 11 回関関同立対抗グライダー競技会(10/25～10/31) 木曾川滑空場

【個人】

優勝:井上翔太(同志社) 908 点 準優勝:井上慧(同志社) 834 点
3位:植村航(立命館) 818.7 点 4位:酒井恵梨奈(関西) 733.5 点
5位:稲谷萌(関西学院) 299.7 点 6位:穂積春奈(同志社) 24 点

【団体】

優勝:同志社大学 準優勝:立命館大学
3位:関西大学 4位:関西学院大学

【特別賞】

滞空時間賞:穂積春奈(同志社大学) 滞空時間:27 分 55 秒
速度賞 :井上翔太(同志社大学) 周回時間:10 分 27 秒(文化センター・宿舎)

第 35 回東海・関西学生グライダー競技会(11/02～11/10) 木曾川滑空場

【個人】

優勝:中村選手(名大B) 1000 点 準優勝:松本選手(関大関学府大) 312 点
3位:浅井選手(名工) 156 点 4位:堀内選手(大工) 47 点
5位:縄手選手(関大関学府大) 13 点 6位:岸選手(名大A) 10 点
10位:井上翔太(同志社大学) 6 点

【団体】

優勝:名大Bチーム 1005 点 準優勝:関大関学府大チーム 330 点
3位:名工チーム 156 点 4位:大阪工業大学 47 点
5位:名大Aチーム 17 点 6位:京大チーム 8 点
7位:南山大学 7 点 8位:同志社大学 6 点

第 55 回 全日本学生グライダー競技選手権大会(3/1～9) 妻沼滑空場

【個人】

1位:栗野翔太(慶應)	2121 点	2位:長田一槻(青山)	1882 点
3位:安達拓人(早稲田)	1842 点	4位:大塚雄太(日大)	1803 点
5位:森本将崇(東大)	1795 点	6位:浅井雄貴(名工)	1774 点
18位:井上翔太(同志社)	1047 点		

【団体】

1位:慶應 Discus	4710 点	2位:早稲田 LS	3646 点
3位:日本大学 A	3606 点	4位:早稲田 23	3590 点
5位:東大 24	3511 点	6位:青山 Discus	3418 点

2015 年度 新幹部

主将:西原優作	(新 3 回生)
副将:前田一貫	(新 2 回生)
会計:松崎里佳	(新 2 回生)
主務:河合雄人	(新 3 回生)
副務:関優太	(新 2 回生)
OB 係:井上翔太	(新 4 回生)
山根久美子	(新 2 回生)

2015 年度 目標

自大学でウインチオペレーターを含めたすべての係を揃え、早期にライセンスを取れるような環境作りを行う。

夏までに新 3 回生がライセンスを取り、全国大会に出場する。

2014 年度航空部会計報告

2014.1.1～2014.12.31

(単位:円)

収入の部		支出の部	
前期繰越金	594,342	試合費	69,810
大学補助金(大学配分補助金)	380,000	交通費	116,084
大学補助金(スポーツ特別補助金)	75,000	医療費	2,875
大学補助金(スポーツ振興基金補助金)	13,000	保険料	749,970
個人負担金	288,550	維持費	422,527
部費	926,310	用具購入費	72,429
寄付金	162,633	印刷費	570
体育会費	102,000	消耗品費	60,684
ユニオン終身会費	20,000	通信費	24,156
特別収入	266,255	手数料	7,197
		備品費	43,170
		資料費	10,500
		連盟費	593,000
		コーチ謝礼費	160,815
		ユニオン終身会費	20,000
		体育会費	102,000
		キャンプ代	143,000
		特別支出	157,891
計	2,828,090	計	2,756,678
		次期繰越金	71,142

